

# 業務速報

## 令和6年度昇格計画数について業務委員会開催 競争で安全・安定輸送は確保できない！ 昇格制度そのものを変える必要がある！

本部は7月12日、令和6年度昇格計画数について業務委員会を開催しました。昇格数は約3,900名ですが、等級により数字の変動がありました。合格者数は概ね有資格者の4～5割であるとの説明がされました。

本部は「努力していない社員はいない。現場では、わずかの社員しか合格していないという実感だ。鉄道業で競争させることは安全を脅かす。経験などにより昇格するシステムにすべきだ」などと主張しました。

会社は「苦労した者が昇格する制度であり、これを変える考えはない。モチベーションをもってもらうためには競争が必要だ」などと主張し、意見が対立しました。

以下、主な議論内容です。

### 昇格計画数

等級	昇格計画数	昨年度比
L3等級へ	約 250人	± 0
L2等級へ	約 180人	± 0
L1等級へ	約 290人	- 30
C2等級へ	約 480人	+ 60
C1等級へ	約 600人	+ 20
S3等級へ	約 650人	+ 50
S2等級へ	約 720人	± 0
S1等級へ	約 340人	- 50
J3等級へ	約 260人	- 60
J2等級へ	約 130人	- 60
計	約 3,900人	- 10

## S等級で打ち切られている社員が多い！

組合：昨年は昇格総数は約3910人だったが、実績はどうだったか。

会社：ほぼ実績通りである。

組合：今年度は10人少ない。S3からC1への昇格は20名増えているが、それでもS3に相当数滞留しているのではないか。だからS3からC1への昇格枠を増やさなければならない。

会社：有資格者の変動により枠を算出している。それ以外の理由で枠を増やすことはしていない。

組合：昇格で枠を設けることはおかしい。B年限の撤廃が要求である。B年限がないから指導職で退職する人が多い。指導職で退職した人の数を明らかにせよ。

会社：この場に持ち合わせていない。

組合：かなりの数で退職している。有資格者数の8割程度合格させる考えはないのか。

会社：平成18年度での人事制度ができて、その当時から変える考えはない。

組合：昇格計画数と昇格数はあっているのか。

会社：個別の各昇格数については明らかにできないが、大枠の3910人については計画通りに昇格している。

組合：J2からS1について昇格数は昨年と比べて少なくなっている。理由はなにか。

会社：若年層の等級に応じた昇格数の減少は採用者数に関与している。

組合：実績は有資格者数の4～5割が昇格していることでいいか。

会社：具体的な数字は言えないが、総体として4～5割が昇格している。

組合：3年前に5月に業務委員会を開催して昇格数を明らかにしていたが、一昨年より7月に昇格計画を明らかにするようになった。

会社：定期異動が終わったあとに昇格計画を出すことを考えて、7月に昇格計画を明らかにしている。一昨年から7月に明らかにすることに支障はなかった。

組合：飛び級制度があるが、昇格数の中に組み込まれているのか。

会社：C1からL1への飛び級の実績はなかった。

組合：特別に飛び級への枠を考えているのか。

会社：特別な飛び級への枠を考えていない。

組合：L1等級へ290人となっているが、飛び級の数に含まれているのか。

会社：飛び級のためと考えていないが、含まれることになる。

組合：職場の実態として、また合格しなかったという認識である。系統別で考えているのか。

会社：系統別では考えていない。

組合：査定についてはブラックボックスとなっている。

会社：具体的なことは明らかにしないが、日々の業務やあるべき姿に照らし合わせて客観的に判断している。

組合：乗務員は一人乗務なので誰が見て判断しているのか。

会社：添乗とか無事故とか、職場を活性化させるための活動とか後輩への指導をしているか等の、要素を考えて客観的に判断している。

組合：現場ではなかなか合格しない考えがはびこっている。

会社：現場所属によって昇格が変わることではない。

組合：ユニオン役員は、役員を降りて現場に帰ってくると、管理者になる実態がある。

会社：昇格試験に合格する以外に何もない。

## **鉄道に競争は不要、合格枠を撤廃せよ！**

組合：組合は試験により昇格する制度は、鉄道業には向かない制度である。チームワークを乱す制度である。国鉄時代のように経験や年数で昇格していくことがベストな制度と考える。

会社：公平公正に試験によって昇格していくことが大事と考えている。

組合：鉄道業には相応しくない制度だ。

組合：各鉄事ごとの昇格計画数はないのか。

会社：詳細についてはない。

組合：各鉄事の所属社員数があるのだから、昇格数もおのずと分かるのではないか。

会社：人数比ではなく、年齢構成、等級経過年数もあるので、単純に人数比で割ることはできない。

組合：各鉄事の有資格者数の4～5割を昇格しているのか。

会社：全体での有資格者数で見ている。

組合：プロ大は受かるが、高卒が受からないという認識である。プロ大と高卒を分けなければならない。

会社：プロフェッショナル職の中で、学歴によって大きく変わるものではない。始めのスタートで学歴によって違いがあるが、それ以後の昇格基準は変わるものではない。

組合：新人事・賃金制度は努力した者が報われると言われているが、全くそのようになっていない制度である。

会社：十分に機能している制度である。

組合：公平に努力した者が報われることが、目に見えないといけない。

組合：JR東海労組員は毎年受からない扱いがされている。

会社：組合所属は全く関係ない。

組合：ユニオンの中でも良い子・悪い子・普通の子がある。悪い子は10数回

落とされている。公正公平と言われてもそうっていない。意図がある。

組合：競争意識を煽る試験制度である。試験制度導入反対。試験結果について具体的な点数を本人に明らかにすればよい。信用できない。

会社：今提案している新人事・賃金制度は、自分の立ち位置が明らかになる。加えて人事考課の具体的内容をフィードバックし、透明性が高まっていく。

組合：10数回落とされることは、定期昇給が逡減している。諸悪の根源である。定期昇給が逡減する制度は撤廃せよ。だから社員は昇格にシビアである。

組合：昇格計画数を明らかにすること自体がおかしい。有資格者数の4～5割も受かることもおかしいことである。

会社：有資格者数に対して何割かだけでなく、中長期的な要員が必要なのかを含めて算定している。

組合：合格が3900人となっているが、4～5割からすると2000人弱か。

会社：そうではない。

組合：有資格者数の4～5割だから、8000人弱が有資格者数でいいか。

会社：計画数通りに昇格している。

組合：7割の昇格数とすればよい。

会社：7割にしてしまうと滞留が起きたり、中長期的な要員を考えて適正な昇格数としている。

組合：現実に滞留している。運輸所で400人いて、あまりにも主任が少ない。車両所も少ない。公正公平になっていない。

組合：なぜC1は少ないのか。S3は全社員何人いるのか。

会社：明らかにしない。

組合：だから昇格制度はブラックボックスだ。

会社：会社としては中長期的なことを考えて、社員の意欲の観点を踏まえて実施していく。

組合：若年層の合格者を増やせ。昇格することにより、人件費が増えると思うが、人件費を考慮して昇格数を算出していることはないか。

会社：ない。

組合：JR東海は人件費の割合は低い。14～15%だ。

会社：割合の問題ではない。この場は昇格の話である。

組合：もう一度言うが、競争は止めて努力した社員は全員合格させよ。鉄道に競争を持ち込むべきではない。

会社：新しい人事・賃金制度に基づいて適切に行う。

組合：そうは言っても社員の感覚すれば、そうは思わない。

組合：試験を導入し、競争をあおり、鉄道業には向かない制度である。試験制度はいらない。対立を確認する。

**\*尚、各昇格試験申し込み期日は7月23日～8月2日までとなっています。**

以上

## 令和6年度昇格計画数について

令和6年7月12日

東海旅客鉄道株式会社

昇格計画数は、次のとおりとする。

等級	昇格計画数
L3等級へ	約 250人
L2等級へ	約 180人
L1等級へ	約 290人
C2等級へ	約 480人
C1等級へ	約 600人
S3等級へ	約 650人
S2等級へ	約 720人
S1等級へ	約 340人
J3等級へ	約 260人
J2等級へ	約 130人
計	約 3,900人

令和6年7月12日  
東海旅客鉄道株式会社

### 令和6年度昇格試験の実施について

令和6年度昇格試験のスケジュール等は、次のとおりとする。

#### 1. 実施時期

	昇格試験A	昇格試験B	昇格試験C
受験申込受付期間	7/23～8/2		
筆記試験実施期間	9/4～9/11	9/4～9/11 (医療社員除く)	—
面接試験実施期間	10/25～11/22	9/4～10/11 (医療社員のみ)	—

注. L3等級への昇格試験A(面接試験)は12月以降に実施する。

注. 上記日程は、都合により変更することがある。

#### 2. 実施方法

昇進規程第12条によるほか、別紙のとおりとする。

等級	試験種別及び試験内容 (非現業及び事務職名にある者)		試験種別及び試験内容 (事務職名を除く現業職名にある者)		試験種別及び試験内容 (医療社員)	
1.3等級						
1.2等級	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(論文) ・面接試験 ・人事考課
	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
1.1等級	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文+専門) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験A】 ・筆記試験(共通+論文) ・面接試験 ・人事考課
C2等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
C1等級	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・人事考課		【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+専門) ・人事考課		【昇格試験B】 ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・面接試験 ・人事考課
S3等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
S2等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
S1等級	【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+論文) ・人事考課		【昇格試験B】 ・筆記試験(共通+専門) ・人事考課		【昇格試験B】 ・面接試験 ・人事考課	【昇格試験B】 ・面接試験 ・人事考課
18等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
12等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課
11等級	【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課		【昇格試験C】 ・人事考課	【昇格試験C】 ・人事考課

## ○出題範囲

- ・筆記試験(共通)においては、時事に関すること(社会知識)及び会社に関すること(会社知識)を問う。
- ・筆記試験(専門)においては、業務に関すること(専門知識)を問う。
- ・面接試験においては、社会知識、会社知識、専門知識を問う。
- ・1.1等級及びC1等級への昇格試験Aにおいては、上記各項目に加え、経営理念、経営戦略・施策、国鉄改革の歴史、労使関係の基礎、就業規則及び財務等に関する知識を問う。(社内通信研修テキスト共通(Ⅲ)にまとめられている。)
- ・上記の出題範囲に関する教材の詳細は、(別紙2)を参照すること。

## ○専門試験の免除要件について

- 以下の社内通信研修を修了している場合は、専門試験が免除となる。
- ・自系統の社内通信研修(Ⅰ)修了者:S1等級昇格試験時の専門試験免除
- ・自系統の社内通信研修(Ⅱ)修了者:C1等級昇格試験時の専門試験免除
- ※運輸系統社員は「営業」、「運輸」両講座の修了をもって専門試験免除を行う。

## ○その他

- ・「共通試験(論文を除く)」、「専門試験」については、マークシート方式で行う。
- ・昇格試験Aにおける面接試験は、筆記試験合格者に対してのみ実施する。

■共通試験 教材一覧

	受験等級等			
	S1等級	C1等級	L1等級	L3等級
JR東海誌	○	○	○	○
おれんじ	○	○	○	○
就業規則	○	○	○	○
社内通信研修 共通(Ⅲ)			○	○

※「JR東海誌」、「おれんじ」の出題範囲は概ね過去1年分とする。  
 ※時事に関すること(社会知識)の出題については、特に教材はない。

■専門試験 教材一覧

運輸 (駅・車掌・運転士)	受験職名等					
	運輸/在来			運輸/幹線		
	S1等級 指導係等	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 指導係等	C1等級 主任	L1等級 助役
まごころ英会話	○	○	○	○	○	○
JR時刻表	○	○	○	○	○	○
社内通信研修 営業(I)	○			○		
社内通信研修 営業(II)		○	○		○	○
社内通信研修 在来線運輸(I)	○					
社内通信研修 在来線運輸(II)		○	○			
社内通信研修 新幹線運輸(I)				○		
社内通信研修 新幹線運輸(II)					○	○

車両	受験職名等								
	車両/在来			車両/幹線			車両/機械		
	S1等級 車技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 車技	C1等級 主任	L1等級 助役	S1等級 機技	C1等級 主任	L1等級 助役
社内通信研修 在来線車両(I)	○								
社内通信研修 在来線車両(II)		○	○						
社内通信研修 新幹線車両(I)				○					
社内通信研修 新幹線車両(II)					○	○			
社内通信研修 在来線電車構造編		○	○						
社内通信研修 気動車構造編		○	○						
社内通信研修 313系在来線電車構造編		○	○						
社内通信研修 N700系新幹線車両構造編					○	○			
社内通信研修 機械(I)							○		
社内通信研修 機械(II)								○	○

施設(保線・土木・建築)	受験職名等											
	保線/在来			保線/幹線			土木			建築		
	S1等級 施技	C1等級 主任	L1等級 助役									
社内通信研修 在来線保線(I)	○											
社内通信研修 在来線保線(II)		○	○									
社内通信研修 新幹線保線(I)				○								
社内通信研修 新幹線保線(II)					○	○						
社内通信研修 土木(I)							○					
社内通信研修 土木(II)								○	○			
社内通信研修 建築(I)										○		
社内通信研修 建築(II)											○	○

電気(電力・信号通信)	受験職名等											
	電力/在来			電力/幹線			信号通信/在来			信号通信/幹線		
	S1等級 電技	C1等級 主任	L1等級 助役									
社内通信研修 在来線電力(I)	○											
社内通信研修 在来線電力(II)		○	○									
社内通信研修 新幹線電力(I)				○								
社内通信研修 新幹線電力(II)					○	○						
社内通信研修 在来線信号通信(I)							○					
社内通信研修 在来線信号通信(II)								○	○			
社内通信研修 新幹線信号通信(I)										○		
社内通信研修 新幹線信号通信(II)											○	○